

ほんごう

国立富山工業高等専門学校同窓会会報

No. 7 2003年(平成15年)10月発行

〒939-8630 富山市本郷町13番地

国立富山工業高等専門学校同窓会

発行責任者 石山 彰 雄

印刷 / 株式会社 宮越印刷

いっぺんこられまあー

ほんごう会大懇親会開催

(平成15年度総会)

場所 / 名鉄トヤマホテル

会費 / 30才未満及び女性 ¥ 3,000

30才以上の男性 ¥ 5,000

新 卒 者 無 料

恩師の先生方にも御案内しています。

本年度で定年をむかえる

一般教科 寺田 龍郎 先生
が出席されます。

11月1日(土)

PM5:00~ 講演会

(一般教科 寺田龍郎先生)

PM6:00~ 懇親会 (総会)

詳しくは富山高専

(076-493-5463) 増山教官

FAX (076-492-3859)

E-mail: masu1@toyama-nct.ac.jp

なお出席の方は同封のはがきにて、

10月25日までにお知らせ下さい。

多数の参加をお待ちしています。



金森先生の講演



ほんごう会
大懇親会にて



6月28日 定時理事会





ご挨拶

「高専が独立行政法人化に」

校長 宮下 尚

富山高専同窓会の皆様にはますますご清祥にてご活躍のこと大慶に存じます。日頃、本校に対し暖かいご支援とご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

平成16年は本校において、また高等教育機関においても大きな節目の年であります。1つには本校創設40周年を迎えると云うこと、2つには大学を含め高専も独立行政法人化されることです。前者は誕生日をお祝いするべく首尾良く準備に取りかかっております。問題は后者であり、その準備に着手して2年半が経過しており、着々と準備は進んではいますが、ある程度の見切り発車はやむを得ない状況であります。独法化について少し触れたいと思います。

大学は1大学1法人に対して、高専は55高専まとめて1法人となり、「独立行政法人国立高等専門学校機構」となります。我が国のより活力ある社会を実現していくためには、「知」の世紀をリードし、ものづくり技術の振興を担う創造性豊かな優秀な研究者・技術者の育成に当たって、「知の創造と継承」を担う高等教育の果たす使命は大きいものがあり、その中で、とりわけ高等専門学校は、実践性と創造性を兼ね備えた技術者の養成に極めて大きな役割を果たしております。

今回の国立大学及び国立高等専門学校の法人化は、我が国の高等教育の在り方を大きく転換し、更なる発展を図るためのものです。国立高等専門学校の法人化に関する具体的な制度設計や関連する諸問題等については、未だ不明な点が残りますが、法人化の意義について端的に云うならば、「国立高等専門学校の裁量の拡大」と、それによる「個性化・活性化・教育研究の高度化の一層の推進」ということになろうかと思っております。

今までの国立高専は、国の行政機関の一部として

位置付けられていたため、学校の組織・定員や毎年度の予算に対しては、いろんな関与や様々な規制があり、そうした国の関与・規制は、今回の法人化により大幅に緩和されることになり、予算執行面での弾力化や組織運営面での多様化・個性化が推進されるものと考えています。

また、全国の55高専を1つの機構として法人化することによって、従来各高専がそれぞれ行っていた業務の効率化が図られるとともに、インターンシップの組織的推進、教員研修の充実、新たな教材の開発など、実践的技術者養成のための各校の枠を超えた共通的な課題に対しても、機構として共通的に取り組むことができ、各高専にその成果を還元することが可能となります。

富山高専においては、機構が行うこれらの取組の基礎の上に立って、特色ある教育活動や学生サービスの向上に重点的に取り組むことが可能となり、これにより、その自主性を一層発揮し、個性化・活性化が推進されるものと考えております。

私はこの度の法人化は大きなチャンスであると捉え、本校の教育研究活動の一層の充実に向けた自律的な取組を推進していきたいと考えております。本年10月1日には55高専の本部と称される「独立行政法人国立高等専門学校機構」がいち早く立ち上がり、全体の事務局ができます。本校は平成16年4月、従来通り「富山工業高等専門学校」の名称のまま、新たなスタートを切ります。折しも本校創設40周年に新生「富山高専」の誕生となります。

昨年のこの挨拶の中で、「待ったなしの高専改革」と題して書きましたが、教職員の改革に対する意識の向上は著しく、法人化に向けての諸問題がすべて成就し、或いは解決の目処がついております。本年

になって、?本校の外部評価、教育評価の実施、?産学連携の強化?工業材料教育研究センター改め総合技術センターに、センター長を校長補佐(研究・地域連携担当)に任命、?技官の組織を技術部とし、3部門制に、?教育環境の整備?2学科の校舍改修(10月末完成予定)とオープラボラトリーの増築(平成16年1月予定)、グラウンドの整備、防球ネットの設置等、?世界に通用するエンジニアの養成(JABEE対応)?平成16年に受審査、?国際交流協定?中国東北大学と12月2日調印(予定)……がなされました。

今後の課題としましては、カレッジとしての組織

の強化(専攻科)、2学科および管理棟の改修など教育環境の整備、産学連携促進のための組織「産業技術振興会」の発足、学外委員参加による評議員会の設置等が挙げられるでしょう。本校は他の高専と比較して、いろいろな面で遅れをとっていましたが、法人化後の整備によって肩を並べることができるでしょう。

富山高専が更なる前進をしていくためには同窓会員諸氏をはじめ、役員のかたがたのご協力とご尽力、そしてご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます、同窓会の皆様がたのますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

退官教官より

37年間の思い出

一般科目 寺田 龍郎

当時大学で専攻生として残っていた研究室の教授から「富山高専(創立三年目)に行きなさい。」の一声で思いもかけなかった教員になって37年もたっていました。来春は密かに段取り、待っていた定年退職である。それにしても、富山高専で、よくも教授に成れ、管理職である学生主事もこなしたものと自分ながら感心しています。また振り返ると、常に青春いっばいの学生と向き合ってきた日々が楽しく、素晴らしい人生を送らして頂いたものと、私を取りまいていたすべての皆さんに感謝しています。

学生諸君と共に頑張った第1回高専祭PRの仮装行列では、若手教官が女装し先頭に立って総曲輪通り、中央通りをねり歩いたのが昨日のように思われます。

一滴のガソリンでどこまで走れるのかを競うマイレージ、マラソンでは毎晩真夜中の化学実験室がマシン工場に、噴水周りはテストコー

スに変身、と鈴鹿サーキットでの大会に向けて徹夜でマシン作り。完成させた達成感、成果、学生と共に本当に楽しかった日々でした。

学生諸君とのイタチごっこであった、校内禁煙、バイク、自動車の指導では学生主事補の先生方と自分ながら学生のために頑張ったと思っています。思い出すと切りがありませんのでまたの機会にしたいと思います。

私はずーと、次の詩と諺を大切に教官人生送ってきましたので書いてみました。

「人生と言う時計は、一度しかネジを巻けない。ずーと先か、それともすぐか。今と言う時こそ君のものだ。さあ! 帆を揚げて船を出そう!。思ったより、針は進んでいる。」

それと「チャンスの女神は、前髪しかない!

前髪を捕らえないと逃げられる。」

私は、これらの詩を、これからも大事にしてリタイア後の生活を愉しんでいこうと思っています。卒業生の皆さん、ますます厳しい時代になって来ています、この厳しさを友達にして前向きに頑張ってください。



事務局からのお知らせ

◎クラス会・クラブOB会の助成制度について

同窓会では今年度よりクラス会・クラブOB会の助成制度を設けました。この制度は会員間の交流を活性化することを目的としています。助成を受けることができるのは次の条件を満たしているクラス会です。

- 同じクラスの会員が10人以上そのクラス会に出席すること。
- 助成は1つのクラス（クラブ）につき年に1回のみです。
- 助成の申請はクラス（クラブ）の理事を通して行ってください。各クラスの理事は次の表のとおりです。
- 助成を受けた場合にはクラス（クラブ）会の報告書とクラス会の様子を写した写真を提出してもらいます。
- 申請はクラス（クラブ）会を行った年度内なら可能です。
- 助成金は原則として定例理事会にて交付します。理事か代理が出席してください。
- 助成は年間10件程度とします。

◎助成金申請方法

助成金の申請は次の項目を記載した申請書と写真を同窓会事務局へ持参してください。

- クラス（クラブ）名（M3, CK2のように）
- クラス（クラブ）の理事名と捺印、理事の連絡先（FAXかE-Mail）
- クラス（クラブ）会参加者名
- クラス（クラブ）会の様子など（400文字程度）
- クラス（クラブ）会のおきの様子を写した写真（添付）

申請書の書式は特に定めませんが同窓会のホームページに雛形を置いておきますのでそれを利用してくださって結構です。

同窓会理事名簿

卒業年	回	氏名	回	氏名	回	氏名	回	氏名
1969	M 1	後明 康孝	E 1	田中 正人	C 1	長谷川 登		
1970	M 2	永森 真一	E 2	大巻 憲五	C 2	清田 幸造		
1971	M 3	石山 彰雄	E 3	中島 潔	C 3	飛世 修		
1972	M 4	丸山 治久	E 4	木村 正人	C 4	柴 基雄		
1973	M 5	山崎 秀一	E 5	高木 正之	C 5	小川 和男		
1974	M 6	布村 敏夫	E 6	金子 信一	C 6	水林 幸雄	K 1	川井 祐賢
1975	M 7	寺井 達郎	E 7	天坂 幸治	C 7	広野 勉	K 2	宮崎 喜信
1976	M 8	宮越 成幸	E 8	富川 功	C 8	松永 政次	K 3	青木 宏志
1977	M 9	浦田 敏明	E 9	池上 久晴	C 9	牧野 啓行	K 4	磯野 忠
1978	M10	浅地 暁夫	E10	秋田 年哉	C10	永代 尚武	K 5	金井 毅俊
1979	M11	川開 国夫	E11	吉田 守	C11	長江 真司	K 6	中川 泰造
1980	M12	藤田 秀人	E12	深山 信一	C12	長越 進	K 7	福田 稔昭
1981	M13	木下 伸治	E13	開田 康浩	C13	八橋 謙二	K 8	奥野 耕市
1982	M14	松本 吉明	E14	高橋 靖人	C14	坂本 智司	K 9	菅野 英雄
1983	M15	田嶋 実	E15	佐藤 圭祐	C15	高松 雅春	K10	北島 博之
1984	M16	清水 龍人	E16	佐野川広嗣	C16	森川 光雄	K11	井上 誠
1985	M17	森川 幸夫	E17	中川 泰	C17	松原 重雄	K12	山本 肇
1986	M18	坪川 幾夫	E18	沢井 博明	C18	浅井 清	K13	山本 高志
1987	M19	副島 悟	E19	竹林 望	C19	山西 誠	K14	藤井 義昭
1988	M20	山野 茂	E20	新村 努	C20	柴野 勝宏	K15	山口 正志
1989	M21	西野 一也	E21	柿岡 史恭	C21	竹内 輝紀	K16	長谷川雅一
1990	M22	河原 治	E22	鎌仲 秀一	C22	栃折 智之	K17	清水 政孝
1991	M23	五島 康	E23	黒崎 勝彦	C23	佐伯 隆司	K18	広本 浩一
1992	M24	阿部 剛	E24	横井 英之	C24	荒井 毅宏	K19	高畑 英夫
1993	M25	日尾 武志	E25	久世 晃司	C25	久才 慎一	K20	藤丸 陽一
1994	M26	西野 武弥	E26	高柳 良太	C26	浅川 典昭	K21	藤岡 剛
1995	M27	米澤 正昭	E27	上田 智美	C27	吉田 功	K22	近藤 智幸
1996	M28	瀬戸 賢二	E28	藤原 健二	C28	堺井 哲朗	K23	藤井 済
1997	M29	桑下 茂雄	E29	澤木 啓之	C29	川辺 真弘	K24	河下 竜世
1998	M30	高野 正章	E30	堀 宏美	C30	村中亜由美	K25	水林 舞
1999	M31	石田 敏晶	E31	佐藤 和也	C31	北尾 敦克	K26	川口 健治
2000	M32	菓子 貴晴	E32	山口 良博	C32	窪田 直彦	K27	高崎 慎一
2001	M33	松永 友宏	E33	荒井 秀允	C33	枝廣まゆみ	K28	水林 飛鳥
2002	M34	廣瀬 智博	E34	曲淵 仁美	C34	蛭川 倫乃	K29	平木 岳人
2003	M35	橋本 芳樹	E35	高野 維子	C35	森田 倫世	K30	熊田 俊吾

専攻科

卒業年	回	氏名
1995	ME 1	坂井 歩
1996	ME 2	道用 浩樹
1997	ME 3	中水 康之
1998	ME 4	稲垣 聡
1999	ME 5	佐竹 克夫
2000	ME 6	西野 武弥
2001	ME 7	武埜 佳人
2002	ME 8	林 俊一
2003	ME 9	竹川 誠
1995	CK 1	古井 秀行
1996	CK 2	高稲 直宏
1997	CK 3	西島 昭弘
1998	CK 4	矢野 祥子
1999	CK 5	前田 功一
2000	CK 6	児玉 知子
2001	CK 7	岩井 徹哉
2002	CK 8	山本 圭一
2003	CK 9	南地さゆり

役員名簿

	回生	氏名
会長	M 3	石山 彰雄
副会長	E 4	木村 正人
副会長	E 6	金子 信一
常任理事	C 6	水林 幸雄
常任理事	M 6	布村 敏夫
常任理事	E 7	天坂 幸治
常任理事	M 8	宮越 成幸
常任理事	K 8	奥野 耕市
常任理事	C 21	畔田 博文
常任理事	M19	増山 圭一
常任理事	M22	河原 治
監事	C 3	米谷 正
監事	M14	本江 哲行

理事に連絡がつかなくなったり忙しくて手続きをしている暇がない、というときには下記の方法で理事を交代することができます。

1. 理事を交代したいとき。

- 新しい理事を選んで新理事と旧理事が連名で同窓会事務

局まで交代する旨を書面で伝えてください。

2. 理事に連絡がつかないとき。あるいはまだ決めていないとき。

- 理事をやってもよい人は同窓会事務局まで書面で伝えてください。

ク ラ ス 会 通 信

機械工学科 第1回卒業生

M1 浜下朝夫

人生の一番多感な時期に、5年間も共に過ごすとは何と素晴らしいことなのだろうと実感した夜があった。年も押し迫った2002年12月30日、待ちに待った機械工学科第1回卒業生の14年ぶりの同窓会です。恩師の田知先生、森先生、尾崎先生、そして、高専の現状を話していただくために貴堂教授をお招きして総勢21名が集まった。卒業後初めて会う面々もあり「一瞬、誰かと思うたねか」と言いながらも、本人とわかるのに時間は要らない。

飲むほどに酔うほどに、懐かしい話や近況報告などに花が咲く。大変な時代を、それぞれが創意と知恵で乗り越えてきた自信に満ちた顔がそこにある。全員が“我が親(戦)友”である。わずか40名のクラスメートも、今は病気で惜しくも亡くなった者、自らが癌の手術をした者、伴侶を亡くした者…もっと早い機会に会うべきであったと悔やまれる。

「今度は還暦か?」「いやあ、何があるかわからんぞ。ワールドカップの年にせんまいけ」…そう

である、頑張ってきた友達の誰一人欠けてはならない。ご出席くださった先生方もずっとお元気でられますように。

今回は4年後、ワールドカップの年に、また会おう!



C29 安田賢生をかこむ会

C29 川辺真弘

8月16日恒例のC29クラス会を開きました。卒業して7年、毎年クラス会を2回くらいは開いているのにもかかわらず、今やっと“ほんごう”に載せて頂くことになりました。5年生の担任を受け持っていた安田先生を囲んでの会でしたが、あいにく先生が欠席の為、先生の居ない切ない同窓会(!?)になりました。今年の参加者は20名とまずまずで、謝恩会でも利用した名鉄トヤマホテルで盛大に行われました。宴会途中、当時の学籍番号順で席替えをし、当時の席順や実験ペアなどの懐かしい思い出話に花が咲きました。

今回は正月に恒例の温泉1泊クラス会開きたいと思っています。これを機会に久々出席してない方の参加をお待ちしています。



ク ラ ス 会 通 信

K29 クラス会

K29 平木 岳人

2002年12月29日午後6時より、K29クラス会を行いました。学校は冬休み、企業も正月休みとあって出席率は高く、今年度で退官される堀田先生を含め、総勢31名となりました。K29は、県内就職した人が約半数を占め、さらに県内進学した人を合わせると、富山県在住は38人中28人にも上ります。このことも、高出席率に繋がったかと思います。

堀田先生のお言葉より始まったクラス会でしたが、私がこの会で最も印象に残ったのは、ある男の言葉でした。その男は、富山高専を卒業後、県内のとある企業に入社しました。男は堀田先生に向かって、自慢げに、こう言いました。

「先生！ オレ、無遅刻無欠勤で表彰された！」

(!!) 私は驚きでした。失礼ではありますが、その男の高専学生時代の遅刻・欠席数を振り返れば、無遅刻無欠勤など考えられなかったからです。堀田先生も、やっとの思いで腰が抜けるのをこらえたことと思います。しかし、驚きはしましたが、自然と笑顔になれる一言でした。自分のことではないのに、自分のこと

ように喜べる仲間がいるのは、大変幸せなことです。一社会人として成長した仲間の姿を見て、“がんばっているな”と感心しました。

今回のクラス会は未定ですが、次回もまた、たくさんの仲間と会えることを楽しみにしています。



黄金郷 (エルドラーツ)

K24 浅間 俊一

初めまして!!俺達の名は「エルドラーツ」。平成8年度卒業生のみ(M, E, C, K全学科)で構成された総勢20名の草野球チームです。結成から3年あまり…現在まで約30試合以上をこなし、新聞社やスポーツ用品店主催の大会などにも積極的に参加しております。

かつての高専生活6年間を共にしたメンバーが休日集まり、お日様のもと力を合わせ相手チームと真剣勝負を織り成す。勝っても負けてもその後には清々しさが残るものです。

「エルドラーツ」の名前の由来ですが、かつて俺達が高専時代に溜まり場に使っていたアパート「エルドラード二号館」から勝手に頂いたものであり、何でもありの、まさに黄金郷(エルドラードの意味)と呼ぶにふさわしい思い出いっぱいの場所でした。しかし卒業してからというもの当然のごとく皆が顔を会わす機会は次第に少なくなって行きました。そこでその「きっかけ」作り、もう一度かつての黄金郷を求め、エルドラーツ結成に至ったわけなのです。野球をやっている間だけは全員が高専生だった頃に戻れます。毎試合が同窓会です。お陰で野球以外の集まりも増えました。パー

ベキューしたり、温泉に行ったり、高専時代よりか更に親密になれたかもしれません。ちなみに写真は城端雪合戦大会に出場した時のものです。俺達は更なる理想郷を求めて歩み続けます。いつか皆さんの中からエルドラーツと対戦出来るチームが現れることを楽しみに待っております。お友達を大切に…。



卒業生による講演会の実施

同窓会長 石山 彰雄

同窓会事業の一つとして、卒業生による在校生への講演会活動を下記のとおり実施している。

平成12年度 「特許の話し」

E4 小森久夫氏 (弁理士)

平成13年度 「ロボット製造について」

E22 覚田善徳氏 (不二越勤務)

平成14年度 「未成年の法律」

M3 石山彰雄氏 (司法書士)

それぞれ3年生の特活の時間、約90分を利用して、先輩達から在校生へエールを送っている。

90分間学生たちに静聴させるのは至難の技であるが、先輩が何を喋ろうとしているのか興味深かそうに聞いてくれる学生も沢山いる。

後輩にエールを送りたいと思われる方は、是非御応募頂きたい。



三者懇談会の開催報告

同窓会長 石山 彰雄

本年度で第6回目となる学校、教育後援会、同窓会の三者による懇談会が下記のとおり開催された。

日時 : 8月2日(土) 午後6時

場所 : 高志会館

出席者 : 富山高専 : 宮下 学校長

前 副校長

松井 校長補佐

米谷 物質工学科長

(40周年記念事業委員長)

教育後援会 : 野宮 会長

松倉 副会長

浅野 監査

高崎 幹事

同窓会 : 石山

水林 常任理事

布村 常任理事

議題 : ・学校、教育後援会、同窓会のそれぞれの状況報告、活動内容につき
意見交換
・40周年記念事業の検討
記念誌の発行、行事などにつき意見交換

今回で第6回となる三者懇談会も一時、中断の危機にあったが、なんとか継続することが出来た。これからも継続して富山高専の活性化に協力したいものである。



外部評価委員会への出席

同窓会長 石山 彰雄

学校改革の一環として、富山高専としては初めての外部評価委員会が下記のとおり開催され出席した。

日 時 : 平成15年2月17日(月) 10:00~16:00

出席者 : 別紙のとおり

現在、高専制度は、独立行政法人化及び技術者教育認定機構(JABEE)など取り巻く環境が大きく変わろうとしている。

それに伴って、当然に学校自体が変革の渦に身を置かなければならず、その一つとして外部評価委員会が開催されたものであろう。

委員会のなかでの意見にも多数あったが、官・民との連携が非常に重要で積極的に推進してもらいたい。

高専制度を積極的にP. R. して大学と同等の高等教育機関であるという認識を広める努力が必要と思われる。

学校の施設としては、コンピューターが学生一人に一台ずつ割り当てられており、良い環境であったが、校舎自体がかなり老朽化しており改修が必要であるとの意見が多くあった。

(校舎の改修工事については、15年度の補正予算がつき、現在工事中である。)

これら外部委員の意見を参考にして富山高専が更に活性化されることを願いたい。

外部評価委員会出席者名簿

長岡技術科学大学	学 長	服 部 賢 殿
富 山 大 学	工学部長	龍 山 智 榮 殿
富 山 県 中 学 校 長 会	会 長	滝 本 恒 平 殿
(魚津市立西部中学校 校長)		
富 山 県 生 活 環 境 部	次 長	三 田 哲 朗 殿
富 山 市 長		森 雅 志 殿
【代理】富山市企画管理部	主 幹	二 宮 努 殿
社団法人 富山県電子電機工業会	会 長	水 口 昭 一 郎 殿
(立山科学グループ 代表取締役会長)		
【代理】立山マシン株式会社	取締役副社長	内 田 賀 久 殿
富 山 県 中 小 企 業 団 体 中 央 会	会 長	田 中 一 郎 殿
(田中精密工業株式会社 代表取締役社長)		
株 式 会 社 ユ ニ ゾ ー ン	代表取締役社長	梅 田 ひろ美 殿
フ ァ イ ン ネ ク ス 株 式 会 社	代表取締役社長	松 田 登 殿
富 山 工 業 高 等 専 門 学 校	同窓会長	石 山 彰 雄 殿

第38回 北陸地区高等専門学校体育大会

期 日 平成15年7月5日(土)、6日(日) (前大会 6月21日(土)、28日(土))

主 管 校 金沢工業高等専門学校

成 績

校 名	富 山 高 専	石 川 高 専	福 井 高 専	富 山 商 船	金 沢 高 専
得 点	20	24	30	22	9
順 位	4	2	1	3	5

陸上競技 総合2位

(男子)

200m 3位 藤瀬 友也
 800m 3位 米田 京平
 5000m 2位 才記 由次
 4×100mR 3位
 藤瀬和也・高島 悠・東福 渉・小水敬太

4×400mR 2位
 久保 諒・東福 渉・渡辺純一・高島 悠

110mH 1位 高島 悠

走高跳 1位 安田 吉宏

三段跳 1位 高島 悠 2位 安田 吉宏

やり投 3位 堀田 荒喜

(女子)

100m 3位 古川 純子

走幅跳 1位 鶴山 敦子

男子バレーボール 3位

女子バレーボール 4位

男子バスケットボール 3位

女子バスケットボール 4位

男子テニス 4位

野 球 2位

サッカー 5位

卓 球 5位

男子バドミントン 1位

個人シングルス 2位 中西 亮 3位 新村 六平

個人ダブルス 1位 高崎 康弘・山下 茂樹

2位 中西 亮・大石 勇佑

3位 新村 六平・山林 和矢

女子バドミントン 1位

個人シングルス 2位 松井はるか

3位 出水亜以子

個人ダブルス 1位 馬瀬口奈都絵・松井 はるか

水 泳 総合2位

(男子)

50m自由形 2位 斎藤 洋輔

400m自由形 2位 中村 卓人

800m自由形 1位 石原 真吾

100m平 泳 1位 西崎 豊

200m平 泳 2位 西崎 豊 3位 岩井 秀人

200mバタフライ 3位 井伊 亮太

100m背 泳 2位 石原 真吾

400mフリーリレー 3位

石原 真吾・西尾 淳志・中村 卓人・斎藤 洋輔

(女子)

100m自由形 1位 中村 紘子 3位 東福 麻央

100m平 泳 1位 東福 麻央 2位 新家 好恵

50mバタフライ 1位 瀬川 縁

50m背 泳 1位 瀬川 縁 2位 森下めぐみ

400mフリーリレー 1位

中村 紘子・森下 めぐみ・瀬川 縁・東福 麻央

剣 道 5位

男子柔道 1位

60kg級 1位 尾塩 縣

90kg級 1位 竹田 明生 3位 山本 怜史

90kg超級 1位 三井 悠生 2位 草島 大輔

女子柔道 3位

(全国大会出場)

48kg級 高橋 徳

ラグビー 4位

ハンドボール

※ 下線の競技及び学生は全国大会へ出場

第38回全国高等専門学校体育大会

<p>陸上</p> <p>男子 110Mハードル 優勝 高島 悠(5 K)</p> <p>男子 三段跳び 優勝 高島 悠(5 K)</p> <p>男子 走高跳び 2位 安田 吉宏(5 M)</p> <p>バドミントン 団体 2位</p> <p>男子ダブルス</p> <p>3位 高崎 康弘(3 K), 山下 茂樹(2 K)</p> <p>女子ダブルス</p> <p>優勝 馬瀬口奈都絵(2 C), 松井はるか(1 K)</p>	<p>柔道 団体 予選リーグ敗退</p> <p>水泳</p> <p>女子100M 平泳 3位 東福 麻央(4 C)</p> <p>女子 50M バタ 6位 瀬川 縁(3 C)</p> <p>女子400M リレー</p> <p>4位 中村 紘子(4 E), 森下めぐみ(4 C)</p> <p>瀬川 縁(3 C), 東福 麻央(4 C)</p> <p>サッカー 1回戦敗退</p> <p>ハンドボール 予選リーグ敗退</p>
---	---

その他の大会及び表彰

第10回全国高等専門学校将棋大会 (8/20~22)	個人戦 ベスト8 志村 正臣(3 C)
第47回北陸陸上競技選手権大会 (8/30~31)	女子 七種競技 優勝 鶴山 敦子(3 C)

※ 標準記録突破, 第88回日本陸上選手権大会出場

柔道部近況報告

柔道部主将 尾塩 縣

柔道部では、県外遠征、県内の練習会参加、及び出稽古等、精力的に活動しています。

県外への遠征には多額の費用がかかるため、昨年度、同窓会補助金の申請をし旅費等の補助として使わせて頂きました。昨年度は今年度の大会に向け筑波、岐阜へ2回の遠征は、同窓会からの補助がたあったからこそ実現できた経緯があります。存分に柔道部が活動のために援助頂いただいたことに、部員一同、深く感謝するとともに、今年度の大会成績を写真を添えて報告させていただきます。

今年度大会では、春季高校総体で選手1名が富山県ベスト8に入賞し、北信越選手権に出場しました。北陸地区高専大会では団体優勝、個人60kg級、90kg級、90kg超級において、それぞれ優勝という好成績を残すことができました。全国大会では、予選リーグで去年の優勝校と今年の準優勝校という厳しいグループに入り、善戦したものの予選リーグで敗退しました。個人戦では、90kg級、90kg超級

ともに一回戦敗退60kg級は2回戦まで進出しましたが敗退という残念な結果に終わりました。私が出場した個人60kg級の二回戦では、ポイントをリードしていたにもかかわらず、精神的な甘さから逆転負けを喫しました。このことを反省材料とし、富山高専の名を少しでも全国に輝かせられるよう、より一層日々の練習に精進していきたいと思っております。



野球部近況報告

野球部顧問 環境材料工学科 井上 誠

同総会より、クラブ活動助成をいただき、どうもありがとうございました。

野球部の昨年度、本年度の成績は以下の通りです。

◎平成14年度

○高専チーム

- ・第37回北陸地区高等専門学校体育大会 3位

○高校チーム

- ・春季富山市長杯争奪野球大会 ベスト6
- ・第74回春季富山県高等学校野球大会 ベスト16
- ・第84回全国高等学校野球選手権富山大会 1回戦敗退
- ・第55回秋季富山県高等学校野球大会 ベスト16
- ・呉東(新川・富山)地区高等学校1年生大会 1回戦敗退

◎平成15年度

○高専チーム

- ・第38回北陸地区高等専門学校体育大会 2位

○高校チーム

- ・春季富山市長杯争奪野球大会 1回戦敗退
- ・第75回春季富山県高等学校野球大会 1回戦敗退
- ・第85回全国高等学校野球選手権富山大会 1回戦敗退
- ・秋季富山市長杯争奪野球大会 ベスト4
 - 1回戦 対大沢野工業高校 7:0 (7回コールド)
 - 2回戦 対富山第一高校 4:1
 - 準決勝 対八尾高校 4:6



「平成14年秋」

本年度の高専チームは北陸地区大会決勝で、福井高専に残念ながら敗退致しました。

高校チームは夏の大会までいずれも1回戦敗退でしたが、新チーム(1、2年生)になった最初の公式戦となる秋季富山市長杯争奪野球大会では、準決勝まで進出し、秋の大会に向けてがんばっているところです。

最近の話題として、8月中に以下の工事がありました。

- ・内野に黒土が入りました。
- ・レフト側まで防球ネットが伸びました

黒土工事の完成の際(9月3日)、校長、副校長、学生主事、事務部長等も出席され、球場開きが行われ、神主さん呼び、安全祈願を行っていただきました。

本校の野球部は、高校の県大会ではベスト8が最高で、春、夏、秋各1回ずつあります。施設面では少しずつ進化してきていますので、それに負けないよう、ベスト8以上を目標にがんばりたいと思います。

最後に、野球部顧問 機械工学科教授・水田篤男先生が4月6日(日)にご逝去されました。在職中のご指導に感謝するとともに、心よりご冥福をお祈り申しあげたいと思います。

ハンドボール部OB会開催報告

ハンドボール部OB代表 E27 坂本 武志

8月15日、本校体育館にて（恐らく第1回目の）ハンドボール部OB会を開催致しました。今回集まったのは現役19名、OB19名（S63～H10入学）の計38名の部員と、顧問の秋元先生、井澤先生でした。

現部長3E三上君の挨拶の後、軽い練習で体をほぐし、早速数試合分のゲームを行いました。ブランクの長いOBにはちょっと苦しい時間となりました。

（笑）

今回が初の開催となったOB会ですが、OBと現役が顔を合わせる良い機会となり、次回の開催を待ち遠しく感じています。ちなみに写真は夜の部の交流会です。

最後に、準備に奔走してくれた波房さん、現役の部員の皆さん、お疲れ様でした。

（お知らせ）今回のOB会をきっかけに、富山高専ハンドボール部のメーリングリストを開設いたしました。参加御希望の方は、<http://www.groups.co.jp/group/tnc-handball>にアクセスし、「グループへの参加」にメール

を送信していただくか、グループ管理者に直接参加希望のメールを送信して下さい。この場合のアドレスは tnc-handball-owner@egroups.co.jp になっています。メールには卒業年・在学時の学籍番号・氏名・現在の連絡先・e-mailアドレスの他、当時のポジション等、一言お書き添えください。是非、ハンド部設立当初～S63入学の方の参加をお待ちしています。



写真部紹介

今から三年前写真部は活動していなかったため部から同好会になりました。今から二年前、このままではいけないと大変汚かった部室の大掃除をして心機一転『めざせ部への昇格!』と目標を立て、私とNちゃんは部員勧誘を始めました。写真に興味のある友達、後輩、その友達と勧誘しているうちに約半年後気がつけば部員は10人以上部室に人が入りきらず、カメラも交代で使用する状態です。そして今年の春には同好会から部への昇格ができ、その上嬉しいことにかわいい一年生が3人も入部してくれました。同好会で部費がなく大変困っていたときに助成金を頂き、活動していく上で必要なものを用意することができ



ても助かりました。ありがとうございました!

現在、私たちは撮影したフィルムを自分達で現像をする活動に加え、学校行事へ撮影係として参加したり、学生会の取材のお手伝いなどもしています。これからは今まで以上に活発に活動していきたいと思っています。何枚かデジカメで撮影した写真を掲載させて頂きましたのでよろしければご覧下さい。



ロボコン報告

平成14年11月3日に岐阜アリーナで行われました、ロボットコンテスト2002北陸東海地区予選について報告します。

この大会のテーマは“プロジェクトBox”。高さ約1mのステージから段ボール箱の階段を越えてフィールドに着地し、フィールド内に3箇所あるスポット上に段ボール箱を積み重ねて、スポットの取り合いをする競技です。この競技は今秋公開の映画「ロボコン」の中で主人公達が取り組んでいる競技です。



10月25日(土)PM2:00~
仮装/パレードin総曲輪通り
10月31日(金)PM4:00~
前夜祭
11月1日(土)AM9:00~本祭
11月2日(日)
・お笑いタレントライブ
いつもここから
ザブングル
・学校企画
学科・専攻科展示
特別企画 富山高専の歩み
中小企業中央会との共同出展

12th 富山高専祭

国立富山工業高等専門学校 学生会

この大会では、どのチームよりも早く一番乗りで会場の岐阜アリーナへロボットを搬入し、大会に臨みました。毎年のことですが、ロボットの製作・最終調整は会場のピットでも行われ、ロボコンに参加する学生の創意工夫は大会当日の競技開始のブザーがなるまで懸命に続けます。

競技の結果はみなさんをご存知のように、A、B両チームとも1回戦敗退となりましたが、そのアイデアの独創性からBチームのロボット“プロジェクトΔ(デルタ)”はエキジビジョンマッチへ出場しました。

本年度も10月12日(日)にサンドーム福井にて開催される地区予選に向けて、学生たちはがんばっています。

(9月9日現在)
ご声援のほどよろしく
お願い致します。



撮影：写真部

- ◎ 富山高専ホームページアドレス <http://www.toyama-nct.ac.jp>
- ◎ 富山高専同窓会 ホームページアドレス <http://www.toyama-nct.ac.jp/OB-OG/>
- ◎ 「ヒューマンネットワーク高専」 ホームページアドレス <http://www.hnk.or.jp/>